歴史文化を知りその風景の意味を識る

# 利根川流域の本

まつやま書房
2023.7時点
Tel (0493)22-4162 FAX (0493)22-4460

## Ⓐ 利根川の鳥

小茂田英彦著

利根川中流域坂東大橋付近に生息する野鳥50年にわたり観察し続けた著者の記録集。
観察編の他、長期間の観察日数を鳥類毎に分類した図表編も収録。

A四判／224頁　978-4-89623-141-0
1980円(税込)　ジャンル：鳥類図鑑

## Ⓑ 利根川と生活

間々田地区、川魚漁の記憶

福島やすとし著

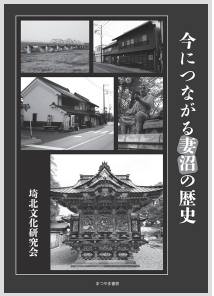
かつて利根川と川漁が生活の一部であったと語る著者による地域民俗誌昭和中期までおこなわれていた漁やその罠の姿をイラストで再現し、当時の生活の様子を克明に記す。

A五判／82頁　978-4-89623-165-6
1100円(税込)　ジャンル：河川民俗誌

## Ⓒ 今につながる妻沼の歴史

埼北文化研究会編著

利根川にかかる刀水橋南岸側に位置する妻沼の街並み。国宝・妻沼聖天山、中世武士斎藤実盛、葛和田の渡しなどこの地の歴史文化に光をあて、時代の変遷と地域の魅力を伝える。




A五判／212頁 978-4-89623-200-4
1760円(税込)　ジャンル：歴史紀行

2023年夏新刊

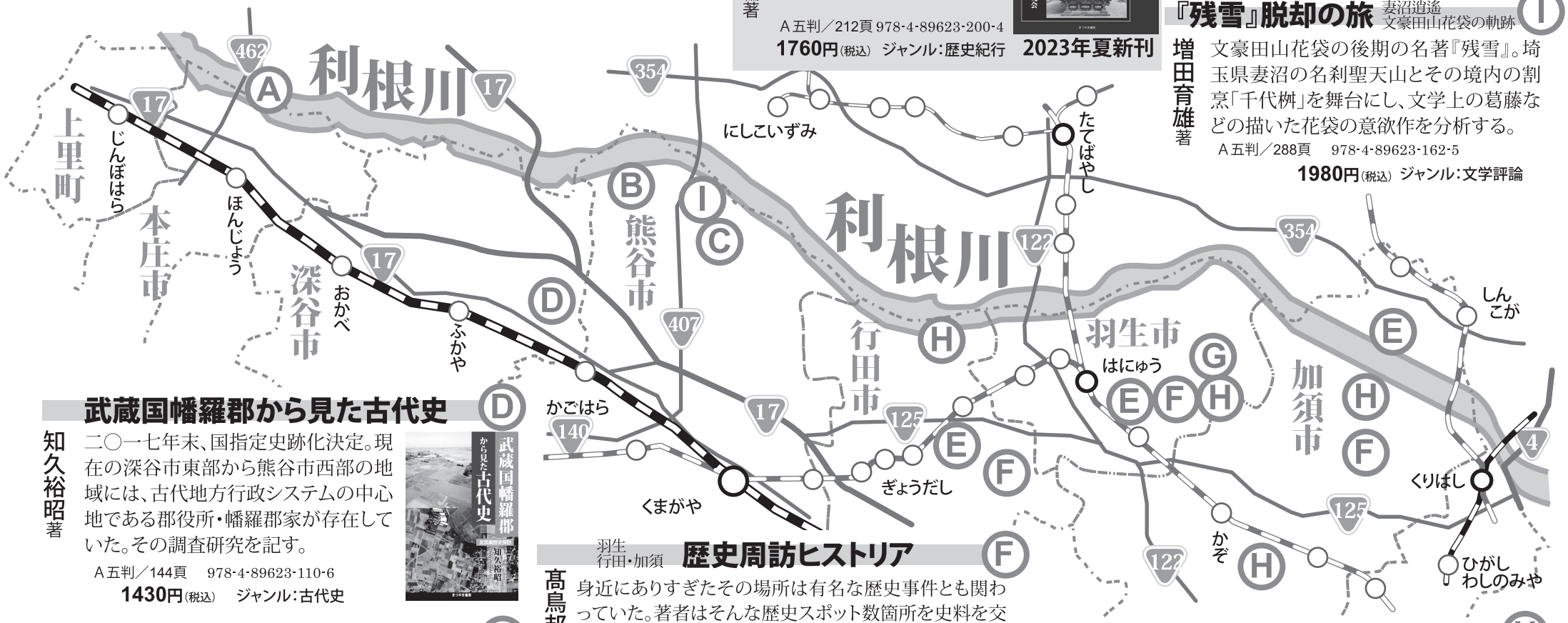
## Ⓘ 『残雪』脱却の旅

妻沼逍遙 文豪田山花袋の軌跡

増田育雄著

文豪田山花袋の後期の名著『残雪』。埼玉県妻沼の名刹聖天山とその境内の割烹「千代桝」を舞台にし、文学上の葛藤などの描いた花袋の意欲作を分析する。

A五判／288頁　978-4-89623-162-5
1980円(税込)　ジャンル：文学評論




## Ⓓ 武蔵国幡羅郡から見た古代史

知久裕昭著

二〇一七年末、国指定史跡化決定。現在の深谷市東部から熊谷市西部の地域には、古代地方行政システムの中心地である郡役所・幡羅郡家が存在していた。その調査研究を記す。




A五判／144頁　978-4-89623-110-6
1430円(税込)　ジャンル：古代史

## Ⓔ 北武蔵人物散歩

大井荘次著

北武蔵で活躍した人物達。地域に埋もれていた歴史をつぶさに掘りおこしていく。歴史散歩のお供として、史跡の地図案内・写真など多数。

A五判／290頁　978-4-89623-042-0　1870円(税込)　歴史紀行

## Ⓕ 歴史周訪ヒストリア

羽生 行田・加須

髙鳥邦仁著

身近にありすぎたその場所は有名な歴史事件とも関わっていた。著者はそんな歴史スポット数箇所を史料を交え紹介。

A五判／274頁　978-4-89623-096-3　1870円(税込)　歴史紀行

## Ⓖ 太田玉名の足跡

埼玉最初の近代詩人

原山喜亥編著

明治文学界にあって「田山花袋」、「上田敏」、「島崎藤村」らと共に多くの作品を残した埼玉県北地域出身の文学作家「太田玉茗」を詳細に調べ上げる。

A五判／274頁　978-4-89623-085-7　1650円(税込)　文学評論

## Ⓗ 古利根川奇譚

古利根沿いに眠る伝説と史話を歩く

髙鳥邦仁著

漂着伝説、人柱伝説、河畔砂丘……河川が紡いだ人々と自然との物語
埼玉県北東部の歴史講座で活躍する若き郷土史家が、古利根川（羽生市～杉戸町部）にスポットをあてる。

A五判／257頁　978-4-89623-115-1
1760円(税込)　ジャンル：地域歴史

※上記以外にも書籍多数あります。詳しくは弊社ホームページまで
**http://www.matsuyama-syobou.com**